



アトリエ オロ・アルジェントからご提案

最近、貴金属価格が高く推移しているため、使わなくなったジュエリーを簡単に手放す人が増えています。私もジュエリーを制作している者にとってこのような行動に関して、疑問を感じます。ジュエリーは丁寧に扱えば何百年も長持ちする物です。親から子へ、子から孫へと継承される物だと考えているからです。一度手放すと二度と戻ってはきません。分解され、スクラップ金属になるだけです。

ご自分のジュエリー手放そう(売ろう)と決断する理由は大きく2つでしょう。

①お金に困っている。 ②使わなく(使えなく)なった。

①の場合は迷わず売って下さい。

②の場合にはいくつかのパターンに分かれると思います。

A デザインが古臭い、デザインが嫌い。

B フォーマルすぎて使う場が無い。

C デザインは気に入っているが、なんとなく使いづらい。

D 石が取れた、片方無くした、破損した。

E デザインは気に入っているが、自分の年齢に合わない。

F 良い思い出が無い。

A、Bの場合はリフォームをお勧めします。

例



左:シトリンのリングを石枠をそのままにピンブローチに
右:3個のリングの石を全部使って豪華なペンダント兼ブローチに

立爪のダイヤモンドの
ダイヤを用いて

上:メレダイヤを足して
豪華なリングに
下:使い勝手の良い1
粒のネックレスに

C、Dの場合は部品の交換、修理などをお勧めします。(こりゃ無理じゃない、と思う状態の物も修復できたりします。もちろん逆も有り)

例



左:片方無くしたイヤリングを他の片方無くしたイヤリングの真珠を使って制作
上:アンティークのブローチの石が外れて紛失、他の石をリカットしセッティング

左:使いづらいフックの金具から使いやすいマグネット(磁石)の物に交換
上:小さくて使いづらい引輪から使いやすい大きい物に交換

Eの場合は2通り考えられます。

ご自身の年齢より若向きの物ならば、新品仕上げやサイズ直しをして、お嬢様、お嫁さん、お孫さんなど大切な人にプレゼントするのが良いと思います。

逆にご自身の年齢がジュエリーに追付いていないならば、その時が来るまで大切に保管して下さい。

Fの場合は迷わず売って下さい。

ただし、リフォームにすると地金を売るだけよりも建設的ですし、ほとんどのショップでは、地金の買取よりも下取の方が利率がよいです。

以上の事を踏まえ、お馴染みのジュエリーショップ、またはオロ・アルジェントにご相談を